



2011年3月1日

各位

会社名 第一三共株式会社  
代表者 代表取締役社長 中山 譲治  
(コード番号 4568 東証・大証・名証各第1部)  
問合せ先 執行役員コーポレートコミュニケーション部長 斎 寿明  
TEL 報道関係者の皆様 03-6225-1126  
株式市場関係者の皆様 03-6225-1125

### 米国 Plexxikon Inc. の買収について

第一三共株式会社（本社：東京都中央区、以下「当社」）は、この度、当社グループの癌事業強化の一環として、Plexxikon 社（本社：米国カリフォルニア州バークレー、非上場企業、以下「PLX 社」）の全株式を取得することで合意いたしましたのでお知らせします。

#### 記

##### 1. 本買収の概要と意義

- ・ 癌領域において画期的な治療薬を提供することは、当社の中長期的な目標の一つであります。本買収により、第一三共グループは、日本、米国、欧州、インドにおいて自社の探索研究拠点を有することとなります。今後はそれぞれの特長を活かしたグローバルな研究活動を推進することで、更なる機能強化を図り、ファーストインクラスの新薬につなげていきます。
- ・ PLX社は、優れた創薬プラットフォームである Scaffold-Based Drug Discovery™ Platform\*を有しており、当社との連携のもと、有望な新薬を創出していきます。  
\*様々な創薬ターゲットに対して、効率的にリード化合物を創製する技術
- ・ PLX 社が創製し、ロシュ社と共同開発している悪性黒色腫治療薬（PLX4032、現在第Ⅲ相試験実施中）の米国におけるコ・プロモーション権については、今回の買収により、当社、米国子会社である第一三共 INC.（本社：ニュージャージー州、以下「DSI」）が行使し、承認取得後は、DSI がロシュグループのジェネンテック社との共同販促活動を行う予定です。
- ・ PLX 社は、PLX4032 以外にも多くのキナーゼ阻害剤を有しており、PLX3397、PLX5622 については、臨床試験が実施されています。

- ・ 買収対価として、買収完了時に 805 百万米ドルを支払い、その後、PLX4032 の上市時に追加で最大 130 百万米ドルの支払を予定しております。これらは全額自己資金で対応する予定です。

## 2. PLX 社の概要

### ① 沿 革

2001 年設立、非上場

代表者： K. Peter Hirth, Ph.D. (CEO)

### ② 主要研究開発領域

癌、炎症、心腎疾患、中枢神経

### ③ 主要開発品

- PLX4032 (ロシュ社との共同開発)
  - 対象疾患：悪性黒色腫（メラノーマ）
  - フェーズ：第Ⅲ相試験実施中
- PLX3397
  - 対象疾患：転移性乳癌
  - フェーズ：第Ⅰ相試験実施中
- PLX5622
  - 対象疾患：関節リウマチ
  - フェーズ：第Ⅰ相試験実施中

### ④ 従業員数

約 45 名

### ⑤ 主要提携先

- ロシュ社/ジェネンテック社

### ⑥ 拠 点

本社： 米国 カリフォルニア州 バークレー

## 3. その他の本買収に関する事項

- ・ 特になし

## 4. 業績への影響

- ・ 本買収による当社の連結業績に与える影響については、本買収が完了後、改めてお知らせいたします。

以 上